

池袋チャイナタウン ガイド

池袋華人街指南



Ikebukuro Chinatown

池袋チャイナタウンとは

日本における中華街（チャイナタウン）といえば、横浜中華街・神戸南京町・長崎新地中華街の「日本三大中華街」を指し、これまで東京には中華街は形成されなかった。これら日本三大中華街は、いずれも幕末の開港都市に形成されたものであり、いわゆる「老華僑」によってつくられたものである。

しかし、1972年の日中国交正常化、1978年末以降の中国の改革開放政策の進展などに伴い、在留中国人人口は急増した。なかでも、豊島区池袋周辺は、1980年代半ば以降、いわゆる「新華僑」が多く居住するようになった。池袋とりわけ池袋駅北口周辺には、新華僑が経営する中国料理店・中国食品雑貨店・インターネットカフェ・中国書店・中国語新聞社・旅行社などが増加している。今後も、さらに多くの新華僑経営の料理店・商店や中国マスメディアの事業所などが集中する傾向がみられる。高学歴で高度な専門的技術や知識をもった新華僑も、豊島区やその近郊に多く居住している。

老華僑が苦勞しながら中国の伝統を生かした街づくりを進めてきた日本三大中華街と異なり、池袋チャイナタウンは新華僑によって形成され、成長しつつあるチャイナタウンである。現代中国を体験し、今の中国庶民の食文化を味わうことができる池袋チャイナタウンが、日中友好のシンボリックな町として発展していくことを願っている。

池袋華人街简介

说起日本的中华街，通常指的是横滨中华街、神戸南京町和长崎新地中华街这“三大中华街”、一般都认为在东京并没有中华街。这三大中华街都是在幕府末期的开放港口城市形成的、也就是由所谓的“老华侨”创建的。

然而、从1972年中日邦交正常化以来、尤其是1978年以后随着改革开放政策的不断推进、在日本的中国人口迅速增长起来。其中、20世纪80年代中期以后、越来越多的“新华侨”开始到丰岛区附近居住。池袋尤其是池袋站北口附近、出现了不少由新华侨经营的中国餐馆、中国食品杂货店、网吧、中国书店、中文报社及旅行社。今后、由新华侨经营的餐馆、商店和传媒机构、还将不断增多。目前、很多高学历及从事高技术工作的新华侨也开始到丰岛区居住了。

与老华侨们发扬中国传统精心营造的日本三大中华街所不同的是、池袋华人街完全是由新华侨创建的、并且呈现出不断发展的势头。在这里、你可以体验到全新的中国、可以品味到中国老百姓的饮食文化。在此、我们衷心祝愿象征中日友好的池袋中华街繁荣昌盛。



中国人就学生が居住したアパート
(池袋1丁目、1992年撮影)

「池袋チャイナタウン」の ネーミング

「池袋チャイナタウン」は、山下清海による新しい造語である。「中華街」という呼称では、日本三大中華街のような伝統的な中華街をイメージしやすい。欧米の都市をみると、伝統的なチャイナタウンとは別に、近年の新華僑の増加に伴い、各地で新しいチャイナタウンが形成されている。そこで、池袋の「中華街」は、旧来の伝統的な中華街とは異なり、欧米でみられるような新しいチャイナタウンという意味で、山下が2003年、雑誌『地理』第48巻第8号掲載の論文「世界各地の華人社会の動向」において「池袋チャイナタウン」という呼称を提案したものである。

“池袋華人街”名称の由来

“池袋華人街”是由山下清海教授首先提出的。一说起“中华街”、浮现在人们脑海里的常常是日本三大中华街那样传统的中华街。但是、纵观欧美城市、由于近年新华侨人口不断增长、除传统中华街以外、又在各地形成了新的中华街。于是、山下清海教授于2003年在《地理》杂志第48卷第8期上撰文“池袋华人街”、提出了这一有别于传统中华街、而与欧美城市的新中华街有极大相似性的名称。

池袋チャイナタウンの形成

牌楼（中国式楼門）もなければ、中華街特有の色鮮やかな看板が立ち並んでいるわけでもない。池袋駅北口一帯は、新宿歌舞伎町と並ぶ歓楽街として巷では知られているが、夕暮れの賑わいに耳を澄ますと、其所此所に中国のお国言葉が響き合う。一日の仕事を終えた新華僑が、ケタイを片手になじみの食堂へ急ぐ。ここは本物のチャイナタウンである。

1980年代半ば頃から、上海や福建省出身の新華僑が池袋にやって来た。彼らの多くは日本語学校で日本語を学ぶため、就学生ビザを携えてやっとの思いで来日を果たしたのである。池袋は副都心と呼ばれながらも、駅周辺には気安く庶民的なアパートが残され、彼らにとっては通学・通勤はもちろん、慣れない異国で生活していくには至便の場所であった。中国物産のスーパーマーケットチェーン「知音」は、彼らの生活の拠り所となり、やがて待ち合わせの場所として、情報交換の場として、新華僑の定着を見守ってきた。

最初にやって来た新華僑は、キャリアアップや結婚を機に、さらにゆとりのある住居を求めて埼京線沿線など、郊外へと移り住みつつあるが、やはり池袋に集まって親戚・友人と酒を酌み交わし、懐かしい故郷の味に舌鼓を打つという。

近年には東北3省（遼寧、吉林、黒龍江）出身の新華僑が新たに到着、中国東北料理店や中国朝鮮族料理店も、今や池袋チャイナタウンを彩る名物になっている。

池袋華人街の形成过程

没有中国传统的牌楼、也看不到传统中华街特有的色彩艳丽的招牌。池袋站北口一帯和新宿歌舞伎町一样、是人所皆知的娱乐场所。傍晚在这里侧耳倾听、可以在鼎沸的人声中听到许许多多的中国各地方言。下班后的新华侨们边用手机和朋友通话、边急急忙忙地赶往约会的餐馆。这才是真正的华人街。

从20世纪80年代中期起、上海及福建等地的新华侨逐渐聚集到池袋一帯。他们大都以就学签证来到日本、在日语学校学习日语。池袋虽然被称为东京的副都心、但在车站附近还保留了许多便于老百姓租用的廉价住房。这使池袋成为新华侨们在难以适应的异国他乡上班、上学的最佳场所。经营中国杂货的超市“知音”店、也应运而生、逐渐成为新华侨们生活的据点、约会的场所、交流信息的空间、为新华侨们的生活提供了许多方便。

虽然新华侨们升官发财、结婚生子、逐渐搬迁到琦京线沿线等郊外居住、但池袋仍然是他们和亲朋好友交杯换盏、品味久违的正宗家乡风味的绝佳场所。

近年来、来自东北3省（辽宁、吉林、黑龙江）的新华侨也现身池袋、推出了多家东北家乡菜和朝鲜菜餐馆、为池袋中华街又添异彩。



池袋北口①

何はともあれ、「池袋北口」を目指そう！ここが池袋チャイナタウンの入口。広告もすでに中国語で書かれている。



知音中国書店・知音食品店②

「知音」は池袋チャイナタウンのシンボル。一步、店内に入れば、そこは中国世界。

陽光城③

知音食品のライバル的存在。中国食品が何でも安く揃う。



阿里郎(アリラン)④

中国東北料理店。オーナーは遼寧省瀋陽出身。

こんなお店も



蘭州ラーメン



マレーシア華人料理店



パソコン(電腦)販売・修理店



カラオケ店



自動車学校



旅行社・中国書店

こんな料理も食べてみよう!



「鉄板狗肉」
犬肉の鉄板焼き



「炸醬麵(シャージャンメン)」
油で炒めた味噌をかけた麵



「糖酢魚」
魚姿揚げの甘酢あんかけ



「醬大骨」
豚の背骨の煮つけ。
中国東北料理の代表。



「皮蛋(ピータン)」
アヒルの卵を塩・石灰・泥などに漬けたもの



「二鍋頭」
コリアン酒
(アルコール56度)

池袋チャイナタウンを訪れた人の生の声

- ・中国の人たちやお店、こんなに集まっていたのには驚きました。(♀)
- ・初めて食べる料理ばかりでした。これまで食べていた中国料理って、何だったんでしょうね。(♀)
- ・横浜中華街、神戸南京町とは全く違うチャイナタウンですね。中国の人たちの生活感がありますね。(♂)
- ・犬料理を初めて食べました。はっきり言って、日本に来て食べた肉で、これがいちばん美味しかったです。(マレーシア留学生♂)
- ・これこそホンモノの中国料理。麻婆豆腐は、こうでなくっちゃ。(中国人留学生♂)

【研究メンバー】

山下清海(やました きよみ)

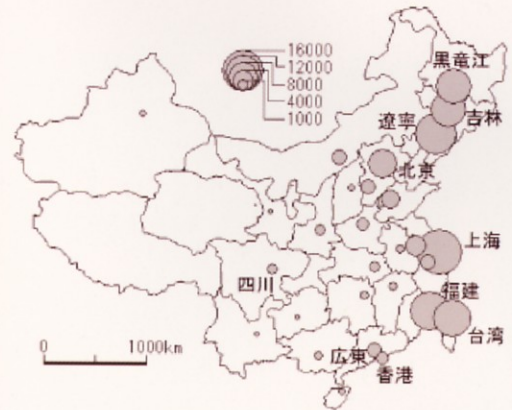
筑波大学大学院生命環境科学研究科地球環境科学専攻・教授
(文化地理学、華僑・華人研究)

松村公明(まつむら こうめい)

立教大学観光学部・教授(商業地理学、観光地理学)

杜 国慶(と こっけい)

立教大学観光学部・助教授(都市地理学、観光地理学)



東京都に留中国人の出身地(2005年)
(『在留外国人統計』により作成)

池袋チャイナタウンに関する情報は、以下のホームページで更新しています。

<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/yamakiyo/>

チャイナタウンや華僑・華人についてもっと知りたい方は、以下の本をご覧ください。

山下清海編『華人社会がわかる本』 明石書店
山下清海 『チャイナタウン』 丸善ブックス

※この「池袋チャイナタウン・ガイド」の刊行においては、福武学術文化振興財団平成17年度歴史学・地理学助成の一部を使用しました。
(2007年3月20日刊行)

池袋チャイナタウンマップ

- 飲食店
- 食料品・雑貨
- 電話・通信
- 美容・エステ・整体
- 娯楽
- 不動産
- その他
- 町丁界

作成：山下清海・松村公明・杜 国慶

